

1 これまでの地域協議会における主な意見

(1) 新しい学校の教育について

阿南地域が活性化するような職業教育が必要である。

学校規模を確保し，多様な科目選択が可能な学科を目指す必要がある。

高校入学後，自分の将来をきちんと決められるような学校，教育システムにしてほしい。

現在行われている阿南工業高校，新野高校の教育や伝統を大切にして引き継ぎ，統合されたときにそれらを相互に活かしていくことも重要である。

卒業後，地元就職する職業学科の生徒が多く，地域との関わりも深いので，地域を担っていく人材を育成する必要がある。

(2) 新しい学校の教育内容について

設置学科について

県南の工業基盤を支えることや今までの実績を考え，阿南工業高校の機械，電気，土木の3分野の教育は必要であり，この3学科の存続については地域からも支持される。

総合学科では，情報ビジネス系列と自然科学系列を加えた4系列を設けることによって，現在不足している部分を補いたい。また，情報ビジネス系列に商業関係の学習を取り入れることで，女子生徒の希望にも対応できる。

総合学科には将来の進路について勉強する機会が準備され，一方，工業科には入学時から専門性を高めたい子どもを伸ばせる場があるなど，企業等にもアピールできる案となっている。

高校卒業後，すぐに農業に従事する生徒はほとんどいないが，農業に興味・関心を持たせて，上級学校につないでいけば，農業自営者の育成が図ることができる。

多くの学科やコースを設け，幅広い進路選択に対応できる高校になれば，その可能性・柔軟さが中学生及び保護者にとって魅力になる。

環境，防災や福祉の分野など，生徒のニーズに対応できるように，総合学科の選択科目を充実してほしい。

総合選択制について

総合選択制が導入されると、自分の興味に合わせて選択できる選択科目が増え、新しい学校の魅力づくりが提案されることになる。

両科の生徒が選択できる総合選択科目に、ボランティア活動に関する科目や福祉、環境など共通なベースになる科目を置いて、新しい学校の特色とすれば、教育内容が充実する。

総合選択制も必要だが、専門性が薄まらないように、小学科制で専門性を高めていくことも大事なことだ。

生徒募集について

工業科も、現在の類・コース制を継続し、1年では各コースに共通する内容を勉強した上で、2年からコースに分かれる方がよい。

工業科において、地域の産業を支える生徒を育てるため、1年から資格取得のための専門教育ができる小学科制とし、目的意識を持った生徒を集めたい。

特色ある教育について

中学生が新高校の概要を見れば、現在の両校がただ一緒になったんだという受け止め方しかできない。もっと多くの科目を開設し、生徒が主体的に選択できるようにするなど、幅広い教育内容を設定してほしい。

将来、生徒数が減少すれば、今のままの工業科と総合学科では志望者はさらに少なくなっていく。スポーツや商業も入れて魅力あるものにし、保護者や子どものニーズに応えていく必要がある。

(3) 新しい学校の設置場所について

阿南工業あるいは新野に統合した場合のおおよその経費（校舎の耐震化や改築、施設の新築など）を比較しなければ、設置場所の議論は難しい。また、科学技術高校にはどれくらいかかったのか教えてほしい。

学校と地域住民との関わり方なども判断材料にしてほしい。

那賀高や海部高も含めた将来の県南地域の高校のことを考えて、設置場所の選定をする必要がある。財政面だけで設置場所を決めるのでは悔いを残す。

(4) その他

阿南地域への中高一貫教育の導入、理数科の設置など、再編方針策定時点と地域の状況が変わっている。そのため多面的な方向からの検討と南部地域全体の専門教育を含めた教育など、中長期的な議論をすることも必要である。

この会で、県南の職業教育をどうするのかという一般的な議論をするのはよいが、富岡東高商業科をどうするかは、新たに委員を入れ検討すべきである。